

交通死亡事故発生状況

(令和6年2月末 暫定数)

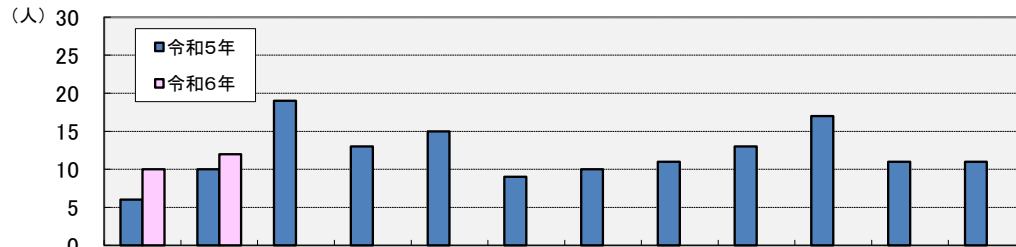
1 令和6年2月末の交通事故

区分	2月中			2月末		
	発生数	増減数	増減率	発生数	増減数	増減率
人身事故件数	1,881	-2	-0.1	3,728	+16	+0.4
死者数	12	+2	+20.0	22	+6	+37.5
負傷者数	2,185	+12	+0.6	4,381	+40	+0.9

- ・ 死亡事故は、22件 22人で
前年同期と比べ +6件 +6人
- ・ 人身事故件数は、0.4%の増加
- ・ 負傷者数は、0.9%の増加

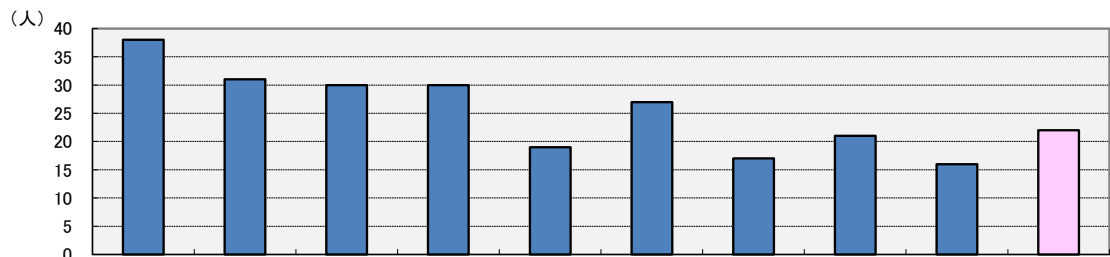
2 月別死者数

～ 2月中の死者は12人で、2人の増加 ～



年 / 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
令和5年	6	10	19	13	15	9	10	11	13	17	11	11	145
令和6年	10	12											22
増減数	+4	+2											+6
増減率	+66.7	+20.0											+37.5

3 死者数の年別推移

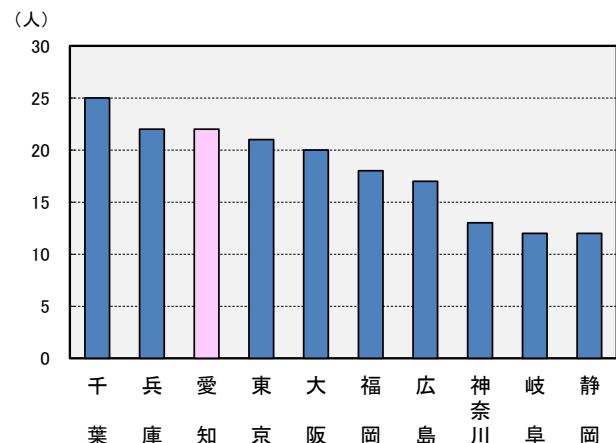


死者数	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
	38	31	30	30	19	27	17	21	16	22

【注】 令和元年の数値は、平成31年のものを含む。

4 都道府県別死者数

順位	都道府県	死者数	増減数	増減率
1	千葉	25	+1	+4.2
2	兵庫	22	+7	+46.7
2	愛知	22	+6	+37.5
4	東京	21	+5	+31.3
5	大阪	20	-6	-23.1
6	福岡	18	+1	+5.9
7	広島	17	+3	+21.4
8	神奈川	13	-5	-27.8
9	岐阜	12	+8	+200.0
9	静岡	12	+7	+140.0
	全国	405	+18	+4.7

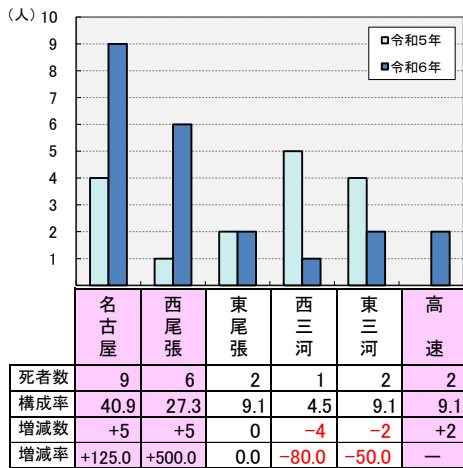


【注】都道府県別死者数は、
令和6年2月29日現在の暫定値である。

5 交通死亡事故の特徴

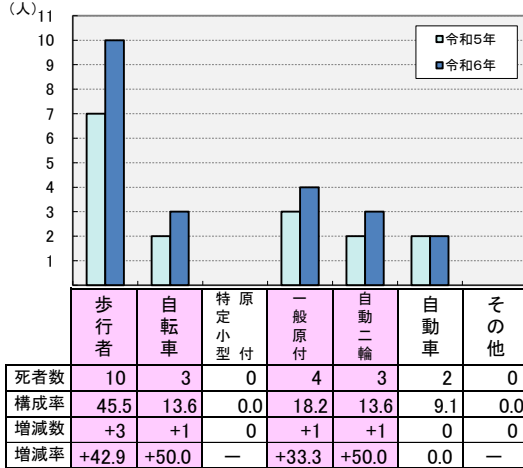
(1) 地域別

～ 名古屋が多発増加 ～



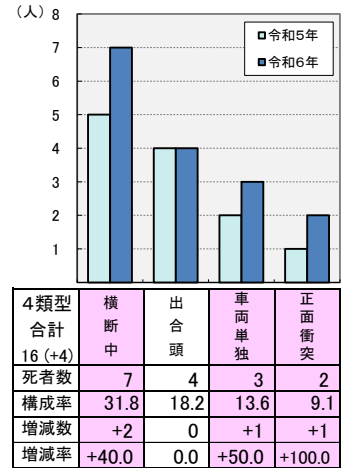
(2) 当事者別

～ 歩行者が多発増加 ～



(3) 主な事故類型別

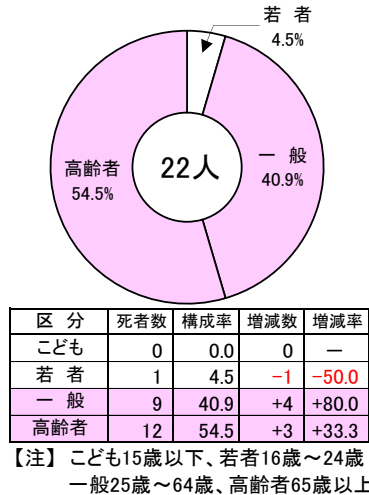
～ 横断中が多発増加 ～



【注】 自転車死者のうち、ヘルメット非着用3人(100.0%)
うち、負傷主部位：頭部3人(100.0%)

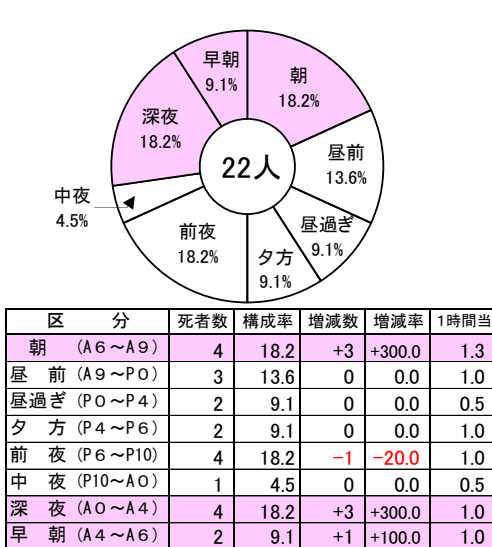
(4) 年齢層別

～ 高齢者が多発増加 ～



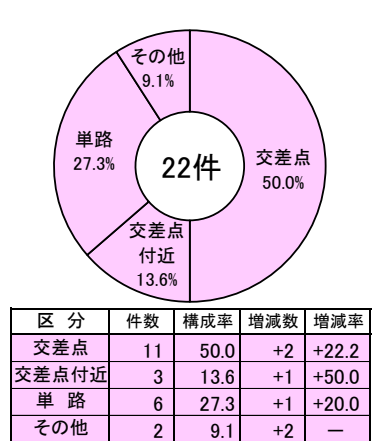
(5) 時間帯別

～ 深夜から朝にかけて増加 ～



(6) 道路形状別

～ 交差点が多発増加 ～



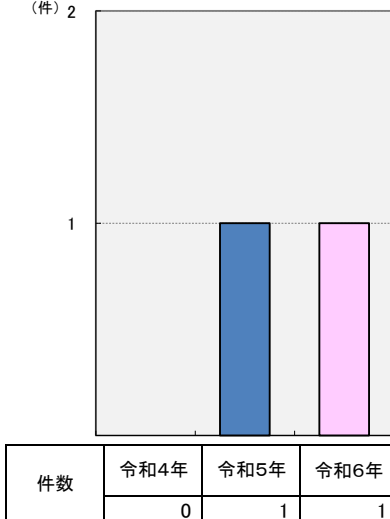
(7) 法令違反別(第1原因)

～ 一般原付以上の信号無視が多発増加 ～

区分	件数	構成率	増減数	増減率
総数	22	100.0	+6	+37.5
一般原付以上	18	81.8	+6	+50.0
重点5態様	7	31.8	+3	+75.0
信号無視	4	18.2	+4	0.0
最高速度	1	4.5	+1	0.0
歩行者妨害等	2	9.1	0	0.0
一時不停止	0	0.0	-2	-100.0
酒酔い	0	0.0	0	0.0
安全運転義務	7	31.8	+3	+75.0
その他	4	18.2	0	0.0
特定小型付	0	0.0	0	0.0
信号無視	0	0.0	0	0.0
一時不停止	0	0.0	0	0.0
その他	0	0.0	0	0.0
自転車	1	4.5	-1	-50.0
信号無視	0	0.0	0	0.0
一時不停止	0	0.0	-1	-100.0
その他	1	4.5	0	0.0
歩行者等	3	13.6	+1	+50.0
信号無視	2	9.1	0	0.0
横断等	0	0.0	0	0.0
その他	1	4.5	+1	0.0
その他・不明	0	0.0	0	0.0

(8) 飲酒運転事故発生状況

～ 飲酒運転死亡事故は1件 ～



(9) シートベルト着用状況

～ 非着用が0人 ～

